

令和4年 第1回 北海道議会定例会〔一般質問〕開催状況

開催年月日 令和4年3月11日（金）
 質問者 日本共産党 真下 紀子 議員
 答弁者 職員監

質 問 要 旨	答 弁 要 旨
<p>五 ジェンダー平等の推進について</p> <p>(二) 道庁における女性登用について</p> <p>女性登用については、知事は昨年の一読議会で、私の質問に対して「女性職員の活躍と登用をさらに推進していく」と大変意欲的な答弁をしていましたが、新年度は目標達成に向け、女性登用をどう進めていくのか伺います。</p> <p>(二) 一 再 道庁における女性登用について</p> <p>次にジェンダー平等の推進についてです。3月8日の国際女性デーに合わせ、上智大学の三浦まり教授らの「地域からジェンダー平等研究会」が「都道府県版ジェンダー・ギャップ指数」を発表しました。</p> <p>その中で北海道は、行政、教育、経済の三分野で全国最下位となりました。知事は恥ずかしくないですか。</p> <p>特に、助成登用の指数は43位にとどまっており、鳥取県の歴代知事が女性登用を進め、1位になったのとは雲泥の差です。その責任は、リーダーシップにあると指摘されております。</p> <p>せめて最下位を返上すべく、女性の登用などの取り組みを加速すべきと考えますが、知事の見解を伺います。</p>	<p>(職員監)</p> <p>はじめに、道における女性の登用についてですが、道では、特定事業主行動計画において、令和6年度までに本庁課長級以上の職に占める女性職員の割合を10%とする目標を掲げ、適材適所を基本としながら、幅広い行政分野への配置や女性職員のためのキャリアデザイン研修の実施などを通じまして、将来の幹部候補となる課長補佐級や係長級の女性職員層の裾野の拡大などに努めているところであります。</p> <p>道といたしましては、引き続き、家庭の状況や昇任に関する意向などを丁寧に確認し、状況に応じた人事上の配慮を行うほか、女性職員がライフステージの変化に柔軟に対応し、やりがいを持って安心して働き続けられる職場環境づくりと、着実にキャリアアップできる人材育成を積極的に進めることで、女性職員の活躍と管理職員への登用をさらに推進してまいります。</p> <p>(知事)</p> <p>次に、道における女性登用についてですが、女性登用の推進は、政策や方針決定過程への多様な視点の反映や活力ある職場づくりの面からも重要と認識をしております。</p> <p>適材適所を基本としながら、幅広い行政分野への配置などを通じ、将来の幹部候補となる女性職員の裾野の拡大などに努めてきたところであります。</p> <p>私としては、女性職員の登用に向けては、こうした取組を中長期的に継続して実施していく必要があると考えており、引き続き、職員個々の状況に応じた人事上の配慮を行うほか、女性職員がやりがいを持って働き続けられる職場環境づくりや、着実にキャリアアップできる人材育成を推進するなど、女性職員の活躍と管理職員への登用率の向上に向けて、積極的に取り組んでまいります。</p>